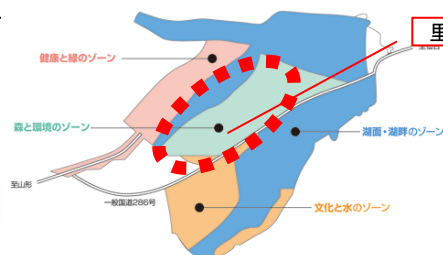




森の楽校だより

VOL. 1 1



里山地区

森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、この度、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成 23 年度は最初の取り組みとして、森の中のコナラの木に、活動の拠点となるツリーハウスを作っています。

1月21日（土）曇り・雪 テッキ用の板を製材しています！

ファーストデッキは、ホストツリーを中央に、両側に広げる予定です。去年のうちに、木を挟んで半分は、支柱、大引き、根太まで完成し、反対側は支柱建てが始まりました。構造づくりはまだまだ続きます。

デッキには鋼材以外に、多くの床板が必要です。板材を作るために大径木のスギ材をタテに挽く作業は、きついものがありますが、黙々と挽いていきます。

新年あけましておめでとうございます。
年明けの活動は、小雪が降る中での活動でした！



休憩場所

雪が降るようになったので、休憩場所に屋根をかけることにしました。
角材で合掌を組んで、シートを被せました。
薪ストーブを囲んでホッと一息できる空間ができました！



お昼のどんらん

寒い時期には温かい汁ものがなによりの御馳走です。自然共生園の野菜を使った、味噌汁をいただきます。



スギの皮はぎ

スギの皮はぎは基本となる作業です。少しずつ慣れてきました。道具もいろいろ試してみました。



雪の里山です。

